

研修受講者の声 (一部抜粋紹介)

講師の久門さんがこれまで悩み葛藤しながら歩いてこられた歴史が感じられるようなお話で、私は非常に心が動かされました。しんどさも確かにある。それでも私自身も関わり続けようと力をもらえた気がします。

ひとつの事柄や一人の人など、様々なことを自分の価値観や尺度で見たり計ったりしていないか？いま一度振り返る機会をいただけたと思います。

利用児童だけでなく、保護者の方への支援についても考えさせられる講義でした。今日の夕方のお送迎時には、児童の様子を伝えるだけでなく、保護者の方からもお話を聞かせていただき、いつもより深く保護者の方とお話しすることができました。

グループワークではお互いの「しあわせ」や「愚痴」「大切にしたいこと」等話を話し合う中で、聴き合う大切さがわかりました。いつでも、誰とも話し合える、聴き合える、そんな職場環境作りをしていきたいと思いました。

講師の久門さんのお話がとてもわかりやすく、共感できる部分も多かったです。普段本はあまり読みませんが気になる本が沢山ありこれを機に読んでみようと思いました。



色々な価値観があり、お子さま・保護者さま・スタッフ・自分自身それぞれが大切なもの、その中でどこまでお子さま・保護者さまに寄り添っていいのか考える場となりました。関わるお子さまの背景にある家庭にも目を向けて保護者さまの気持ちにも耳を傾けて聴くことが大切だと再認識することができました。

事業所が近いこともあって、事業所間で一緒に活動出来るといいなあと話していて、色々企画ができそうです。

研修では、子どもの支援だけでなく環境を整えるために保護者の為の支援が必要である事や、支援者の考え方もあらためて考える事が必要であると感じました。夏休みに向けて体調管理をしよう！みんなが元気で支援していこうとグループで話しをしました。

仕事に対して思うことや各々が大切にしている価値観を聞くことができ、違う視点を知ることが出来ました。また、子供さんにフォーカスしがちでしたがその背景には親御さんが、さらに親御さんにも背景があり、と全体を俯瞰して考える必要があることを意識出来たので今後の支援や御家族との関わりの中で活かしたいと思います。

ソーシャルワークのグローバル定義掘り下げて考えると本当に奥深いですね。自分自身に重ねてみると出来ていないことだらけです。現状に満足せず日々考え続けることが大切だと思いました。